

ベントグラス「かさ枯病」の防除に。  
オキシテトラサイクリンとストレプトマイシンのダブル効果!!

殺菌剤

アグリマイシン®-100

®は日本曹達(株)の登録商標です。

### ベントグラス かさ枯病

【病原細菌 *Pseudomonas syringae* pv. *atropurpurea*】

葉身の傷口周辺に壊死斑を形成、壊死斑は拡大、癒合して葉枯となる。  
病斑は赤変もしくは黄色のかさを伴うことがある。晩秋から翌春の冷涼な時期に発生する。



かさ枯病(発生中期)



カラーに発生したかさ枯病(モアの動く方向に伝播)



カラーに発生したかさ枯病(接写)

写真提供: 関西グリーン研究所



日本曹達株式会社



- 有効成分：アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン……2.8%  
(オキシテトラサイクリンとして……1.5%)  
ストレプトマイシン硫酸塩……18.8%  
(ストレプトマイシンとして……15.0%)
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

## 散布のポイント

適用病害名：西洋芝(ベントグラス)「かさ枯病」

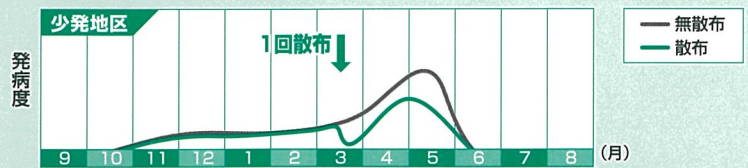
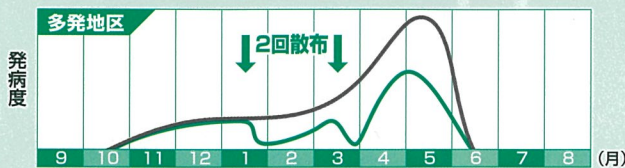
発生時期：11月から5月上旬、特に3月以降に症状が目立つ。

主な症状：葉先に褐色～赤褐色の不整形変色が生じ、水の流れやモアの進行方向に沿って拡大する。カラーなどの刈高が高い場所で病名の由来である「かさ」が葉に認めらる。

散布対象：ナーセリー又は休養中のグリーン

散布時期：多発地区では1月、3月の2回予防散布を推奨、少発地区では3月の1回予防散布を推奨。

グリーン細菌密度をコントロールすることが重要。



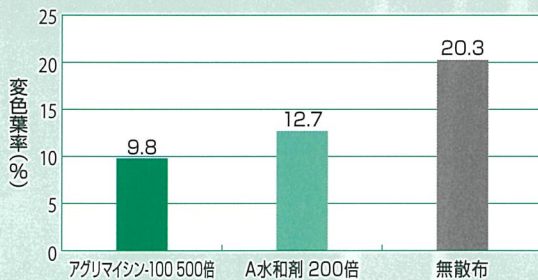
散布上の注意事項：高温多湿下での散布はさけ気温25℃以下で使用する。特に、直射日光による気温上昇が予想される日中の散布は厳禁とし、夕方の散布が望ましい。  
葉害について：葉先が白色に変色した場合は、1週間程度で緑色に回復することが多い。葉先が黄色に変色した場合は、枯死する場合がある。

## 適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数	ストレプトマイシンを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス) (生産圃場)	かさ枯病	500倍	0.5 l/m <sup>2</sup>	発病前～発病初期	8回以内	散布	8回以内	—

## 試験成績 ベントグラス かさ枯病に対する防除効果

## ●2008年(一財)関西グリーン研究所(兵庫県)

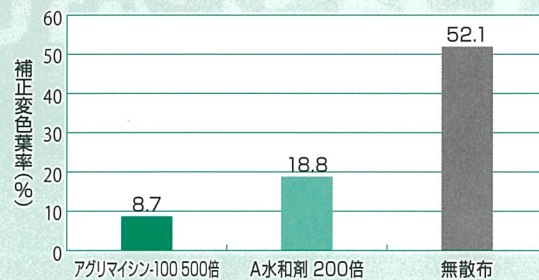


防除価	52	37	—
-----	----	----	---

## 【試験概要】

発生状況：少～中発生(10/31 接種) 散布日：10/28  
品 種：クレーピングベントグラス(ベックロス) 調査日：11/2、11/4、11/6

## ●2008年(一財)西日本グリーン研究所(福岡県)



防除価	83	63	—
-----	----	----	---

## 【試験概要】

発生状況：多発生(10/27 接種) 散布日：10/29  
品 種：クレーピングベントグラス(ベックロス) 調査日：11/6

考察：  
菌接触前(発病前)の散布及び菌接種後(発病初期)の散布のいずれにおいても、アグリマイシン-100の500倍散布はA水和剤の200倍散布に比べて優れた効果を示した。

## △効果・葉害などの注意事項(抜粋)

- 石灰硫黄合剤との混用はさけ、また、ボルドー液と混用する場合は、使用前に混合してください。
- 本剤の使用により、葉害としてクロロシス(黄化現象)を生じることがあります。特に高温多湿時には葉害を生じやすいので、留意の上散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

## △安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 使用の際は使用に関係のない者が作業現場に近づかないように配慮してください。
- かぶれ等を生じた場合には医師の手当を受けてください。

## △水産動植物に対する注意

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## ■保管

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2019年1月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号  
☎(03) 3245-6178 FAX(03) 3245-6084  
https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/